



の既往や花粉症・アレルギー性鼻炎などアレルギー疾患がある方は、呼吸器内科の受診をお勧めします。成人になってアレルギー体質になる方も増えており、原因として大気汚染やタバコの煙が関与しているとも言われています。タバコを1日20本、20年以上吸っている方は、COPD（慢性閉塞性肺疾患、以前は肺気腫と呼ばれていました）という肺が壊れてしまう病気のために、咳、痰、息切れなどの症状が続いている可能性があります。COPDは、呼吸機能検査にて息を吐き出す力を調べることで診断します。

その他、副鼻腔気管支症候群（副鼻腔炎と肺の気管支拡張症）、胃食道逆流症など、さまざまな原因で咳が続きます。長引く咳の場合は、風邪だと思わずに、是非一度、呼吸器内科を受診してください。

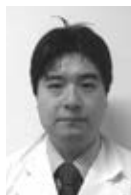
### 呼吸器内科医師紹介



アレルギー・リウマチ科  
部長  
鈴木 勝



呼吸器内科部長  
高見 和孝



医長  
川上 真樹



医員  
田中 祐輔



医師  
小西 典子



医師  
庄司 賀範



医師  
中川 夏樹

### 当院の呼吸器内科の特徴

地域に密着し、小回りのきく中規模病院の特色を生かして、地域の医師からの紹介患者さまも含めて、呼吸器のあらゆる病気を初診から診断、治療、管理を外来・入院・再入院まで、一貫して受け持ちます。

診断に関してはヘリカルCT、MRI、ラジオアイソトープなどの画像診断を駆使し、必要に応じて呼吸器外科、放射線科、病理診断科との意見交換を重ね、適切な治療を提供します。

当科はアレルギー学の専門医が揃っており、アレルギーリウマチ性疾患に関連する呼吸器疾患の治療を数多く行っているのも特徴です。

### 取り扱う主な疾患

気管支、肺とそれを取り囲む胸膜の病気全般を取り扱います。

- ・ 肺癌
- ・ 胸膜中皮腫
- ・ 肺炎
- ・ びまん性間質性肺疾患
- ・ 気管支炎
- ・ 気管支喘息
- ・ 肺気腫

### 治療方針

患者さまとご家族と医師・看護師が一体となって、インフォームドコンセントに基づいて治療方針を決定します。また、治療の選択肢、途中の臨床経過、方針の変更等、診療の全てのプロセスにおいて正確な情報をお伝えし、患者さまご本人の意思を最も尊重します。

すべての患者さまの診断と治療方針はカンファレンスにおいてスタッフ相互で意見を交換し、最適な治療の提供に努めています。